



万葉仮名（真名仮名）

新生



新元号が「令和」と決まった。万葉集の「梅花の歌 32 首」の序文の「初春令月、気淑風和」の文言が出典とのこと。急に万葉集に興味を持った。「万葉集」は、7 世紀後半から 8 世紀後半にかけて編まれた日本最古の和歌集である。万葉集の和歌（約 4500 首）はすべて漢字（万葉仮名を含め）で書かれている。その万葉仮名について研究してみた。

万葉仮名とは、日本語を表記するために漢字の音を借用して用いられた文字のことである。当時は、まだひらがなやカタカナがなく、すべて漢字で表記していた。真仮名（まがな）、真名仮名（まながな）、男仮名（ひらがなを女仮名という）ともいう。

借音（漢字の本来の意義と関係なく、その字音を借りて当てはめたもの）	
1 字で 1 音を表すもの	1 字で 2 音を表すもの
以（い） 呂（ろ）	信（しな）
波（は） 安（あ）	覧（らむ）
楽（ら）ほか、多数	相（さが）

私・ひらいたかおを
万葉仮名であらわすと

秘 卑 飛 悲 ひ
良 等 羅 楽 ら
射 以 伊 異 い
駄 他 太 多 た
蚊 迦 可 香 か
意 憶 於 應 お

梅花の歌三十一首 序文
春の初めの良い月にさわやかな風が柔らかに吹いている
于時初春令月氣淑風和
その中で梅の花が美しい女性が鏡の前でおしろいをつけているかのようによく美しく咲き宴席は高貴な人が身につける香りの香りのように薫っている
梅披鏡前之粉蘭薫珮後之

借訓（万葉集には「戯書（ぎしよ）」と呼ばれる「ことば遊び」が多くあります）	
1 字で 1 音を表すもの	1 字で 2 音を表すもの
女（め） 毛（け）	卷（まく）
蚊（か） 石（し）	蟻（あり）
跡（と） 无（ん）	鴨（かも）

こんなのも
ありかも

1 字で 3 音を表すもの	2 字で 1 音を表すもの
愠（いかり）	嗚呼（あ）
下（おろし）	可愛（え）
炊（かしき）	石花（せ） 牛鳴（ム）

漢数字を使った「万葉戯書」の例
「十六」は、猪（しし） 四×四=十六だから。 二二=二×二=四だから。 五十（い）
もちづき
「三五月」は、望月（もちづき・満月）。 三×五=十五夜の月は満月=望月だから。
「八十一」は、九×九=くく 若草の 新手枕乎 まきはじめて 夜を隔てむ 二八十一不在国

見る毎に恋は益されども色に出でばひと知りぬべみ
毎見恋者雖益色二山上復有山者一可知美 山 山（山の上に山） 山（いで）と万葉戯書の字謎

「恋」は、万葉仮名で「古非」「古比」「孤悲」と書く。孤独り悲しむから孤悲が意味深。
いぶせくもあるか 心が晴れないことだ
「馬声蜂音石花蜘蛛 荒鹿」は「いぶせくもあるか」と読み、動物でつながる漢字が面白い。

そこで

ヒライ流 万葉歌 を、平成から令和に元号変わるとき詠んでみました。
【万葉仮名】平成之 散移期野咲楽 千利奴流遠 令和乃伊路八 尔保反都阿礼
【現代訳】平成の 最後の桜 散りぬるを 令和の色は 匂へとあれ
【意味】 平成最後の桜は散ったが、次代の令和にその淑（よ）い色や匂いが伝わってほしい

「れい」と発音し「令」が含まれている漢字いろいろ

私のパソコンにあった42文字をラインナップしました

令	冷	劊	伶	岑	玲	苓
いいつける。きまり。よい。りっぱな。	ひえる。ひやす。心がつめたい。おちついたさま。	【りょう】とも読む	かしこい。頭がよい。利口。召し使い。	屋根、山頂の意？	玉のように美しいさま	車のちりよけ魚をいれる竹製のかご
囿	吟	齡	苓	伶	衍	閤
ひとや牢獄	吟吟（れいれい）は、光り輝くさま	よわいとし、年齢としごろ	みみなぐさ。ナデシコ科の二年草	さといかしこい	みち。道路。	門の上に取り付けられた小窓
舩	聆	翎	唳	始	嶺	伶
窓のついた小さな小船屋形船	聴く、さとる了解する	鳥や昆虫の羽。矢羽。	ささやき	女性のあざな、女性のこざかしいこと	岑の意字体	雨上がりの小道、行くさま。
拎	泠	聆	鈴	矜	稔	齡
手に持つ手にぶら下げる	【りょう】【れん】【さとす】とも読み	聆朧（れいろう）は月の光明るいさま	すす振って鳴らす球形のもの	ヒサカキ。ツバキ科の常緑低木	穀物が実りはじめる。成熟し始める。	齡躰（れいへい）はふらふらと歩くさま
齒齡	鴿	零	嶺	羚	漚	蛉
齡の旧字体	鴿鴿（せきれい）	ものが全く無いことを表す数。0ゼロ	みね。山の高くそびえる頂（いただき）、その付近。	かもしか（羚羊）	みお。干潟や河口とその付近、湖沼で溝状になっている凹地	螟蛉（めいれい）あおむしのこと、蜻蛉（せいれい）とんぼのこと
瓴	詒	輪	領	鯨	襦	鶺鴒
取っ手のついたかめ。牝瓦（めがわら）。	声を出して売り歩いてらう	車の箱の三方に取り付けた格子窓れんじ	くび。えり。要点。支配する。うける。おさ。大統領	魚のうろこ魚のひれ	衣の光沢衣に艶があるさま	鶺鴒（つる）の別称。カイツブリ科の鳥。鴿鴿（せきれい）

